

むぎゅ〜のススメ

絵本編



保育園の子どもたちは絵本が大好き

保育園の子どもたちは絵本が大好き🍀

どんな風に絵本を楽しんでいるのかな？クラスの様子を紹介します。

0歳児クラス

- 赤ちゃんは、簡単な擬音の繰り返しが大好きです。「ギラギラ」と両手を振って、「ぷー」ではホホを膨らませ、「ふんわ」と手の動きを真似したり……。身振りを先生と一緒に楽しんでいます。
また、絵本を見ながら言葉を添えたり、動物の鳴き声などを加えたり繰り返し話しかけていると、喃語やかわいいしぐさで応えてくれます。

1歳児クラス

- 散歩に出かけるぞうくんが、ともだちのかばくん、わにくん、かめくんと順番に出会って、一緒にお散歩に出かけるお話が大好きです。
身近な動物が登場するので親しみやすく、最後にみんなが池の中に落ちてしまうシーンでは「あ～あ！」と思いが一緒にわきあがります。くり返しのストーリー展開が楽しくて「もういっかいよんでー！」が続出です。

2歳児クラス

- 小さなあおむしが、最後には美しいちょうちょになるお話です。
あおむしがさなぎになるまでに、たくさんのたべものを、1つ2つと食べていく様子に、子どもたちは大喜び。ちょうちょに変身するシーンでは、その美しさに思わず「わあ～！」と声があがります。絵本を見ている子どもたちみんなの顔が笑顔になる瞬間です。

3歳児クラス

「お魚大好き、お肉も大好き・・・だけど、たったひとつ嫌いなものがある。それは、ピーマン」すると、シクシクメソメソ泣き出したピーマンたち。そんなピーマンの絵本の世界に引き込まれた子どもたちは、「嫌いじゃないよ」「食べるよ」「好きだよ」と慰める言葉をかけてくれます。バイキンが現れてピーマンと戦うシーンでは、ピーマンがちょっと苦手な子も「がんばれー」と何度も応援しています。

4歳児クラス

現実の世界にはあり得ない！？河童と子ども達との触れ合いや冒険を描いたお話に、感情移入したり想像力を膨らませたりしています。

「これ、もしかして河童の足跡じゃない？」「ここにも来たのかもかもしれないよ！」と、ちょっとだけ怖いけれど、ワクワクしながら普段の生活や遊びに取り入れて楽しんでいます。絵本に出てくる子どもたちと同じ気持ちを味わっては「また読みたい」と何度も絵本を広げています。

5歳児クラス

・主人公の男の子が動物島にとらわれている“りゅう”の子を助けにいく冒険物語。身近な道具を使いながら様々な危機を乗り越えていくお話に夢中になっています。一匹の野良猫を家に連れ帰ったことがきっかけで壮大な冒険の世界が始まります。読み始めると子ども達は自然と冒険の世界へと入り込み、次はどうなるのかと途中ではやめられなくなるほどです。



- 忙しい子育ての毎日。こんな疑問はありませんか？
- 子どもへの絵本の読み聞かせはどのように大切なの？
 - スマホやパソコンの絵本が手軽で良いけれど…？
 - おしゃべりもまだ、字も読めないけれど楽しめるの？
 - 同じ絵本ばかり見たがるけど、いいのかしら？

区立保育園

くいん先生



そのお悩みに

お答えします！！

～絵本の読み聞かせは、いいこといっぱい～

◆おひざでよんでね

忙しい毎日ですが、お膝や抱っこでぴったりくっついて絵本を読んでもらうことで、お子さんは心地よく全身で愛情を感じることができます。ぜひ、一緒に絵本の楽しさを味わっててくださいね。

近い距離で声を聞いたり、一緒にお話を楽しんだりする読み聞かせは極上のスキンシップです。愛情ホルモンの分泌が活発になりストレスにも強くなると言われています。また、読み聞かせをしている人にもリラックス効果が期待できます。お試しください。

◆パパ、ママの声が大好き！！

子どもはお腹の中にいる時から周りにいる人の「声」を聞いて成長していると言われていています。子どもにとって人の声は何よりも安心できる大切なものです。今は、動画の絵本もありますが、温かな人の声にはかないません。ぜひ、お子さんが大好きなその「声」で読んでもらえたら嬉しいです。

◆絵本の世界って楽しいよ！



絵本のページをめくると
次は何があるのかな…？
あっ！空飛んじゃった～！
あっ！怪獣になっちゃった～！
そんなドキドキわくわくする気持ちを一緒に味わえるのが絵本の読み聞かせの素敵なところです。

絵本から広がるいろいろな世界を楽しむことを通して、子どもは楽しい・嬉しい・怖い・悲しいなどの気持ちを経験することができます。

◆もう一回よんで！！

今読んだ本や昨日読んだ本、「もう一回」って言われること、ありますよね。子どもにとっては自分がわかっている、知っている「世界」をもう一回体験することが楽しい時間になります。また？と思うかもしれませんが、「もう一回」と言われたらぜひ！！

読み聞かせは最高のコミュニケーション

お子さんを膝にのせて絵本をめくっていると、大人の顔を見あげて”にこ！と笑ったり、絵本の言葉を繰り返して大喜びしたり…

そんな経験はありませんか？

家族みんながそのお子さんの姿を見たくて何度も何度も

そのシーンを繰り返し

読んであげたくなりますね。

読み聞かせをする大人と

お子さんの心がつながった瞬間です。

お子さんが大好きで手放さない本、

お気に入りの本、何度も繰り返し見た

がる本があったら、素敵な本（お話）

との出会いを喜んであげてください。年齢が大きくなると、絵本だ

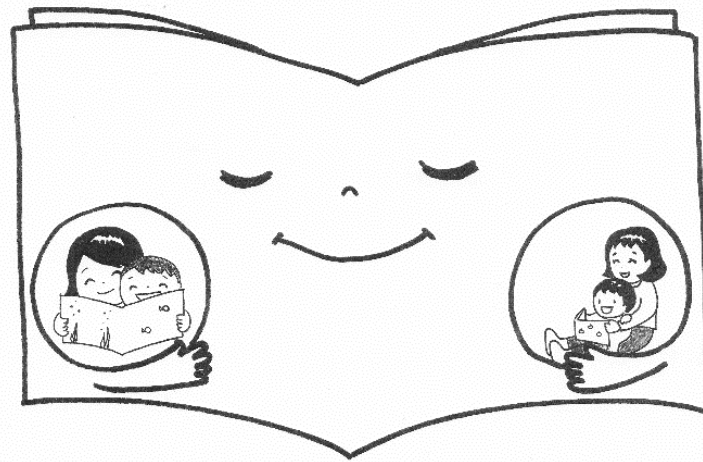
けでなく物語や図鑑など知的好奇心を満足させてくれる本もたくさ

んあります。「へ～そうなんだ。」「不思議だね。」と一緒に絵本を楽

しんだり、不思議がったりしてくれる人がそばにいと、ますます

絵本が大好きになるかもしれませんね。





絵本を読んであげたくても、忙しくてなかなか読んであげられない・・・
そんな時はありませんか？

毎日じゃなくてよいのです。家事の合間やお風呂のあとなど、ちょっとだけ意識して時間を作ってみませんか？

少しの時間ですが、お子さんにとっては自分と向き合ってもらえる嬉しい時間です。

家族が互いに寄り添い、ぬくもりを感じながら絵本を楽しむこと、これこそが絵本の読み聞かせの醍醐味です。そこにお子さんとの愛着関係が育まれ、親と子（家族）の生涯にわたっての“絆”が育まれていくでしょう。

ふれiブックコーナー

板橋区立保育園では、
保育園の絵本や子育ての情報誌などを貸し出ししています。
お近くの保育園に、いつでもいらして下さい。

板橋区立保育園